

学校名：中央区立銀座中学校 所在地：中央区銀座8-19-15

校長名：平松 功治

生徒数：432名 学級数：15学級（特別支援学級3）教員数：28名 職員数：18名

保護者・生徒・教員の学校評価アンケート(令和6年12月実施)結果より

グラフの見方

肯定

肯定的

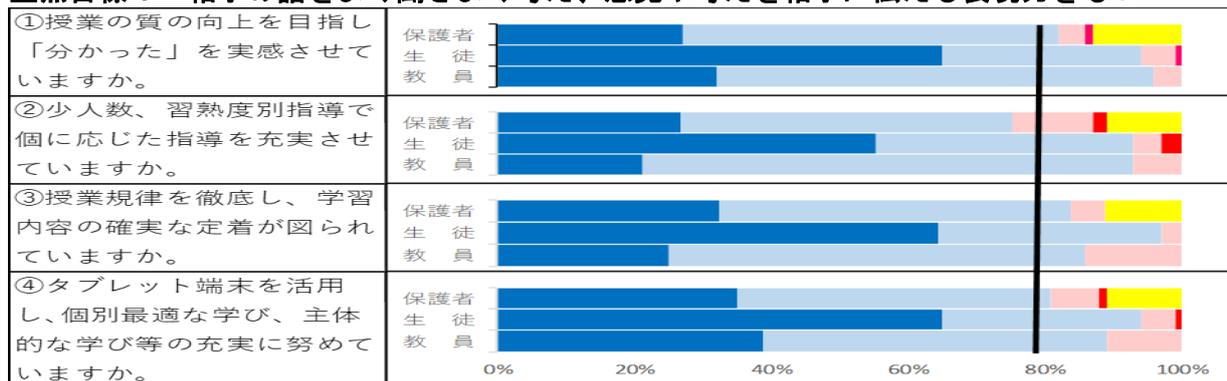
否定的

否定

分からない

1 重点目標の達成状況及び取組状況

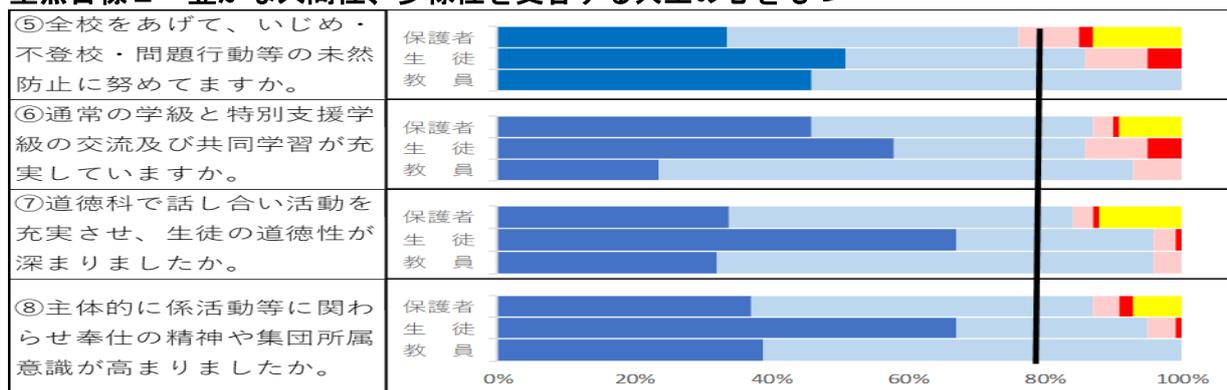
重点目標1 相手の話をよく聞きよく考え、意見や考えを相手に伝える表現力をもつ



すべての項目で生徒・教員は、肯定的な回答が80%を超えている。保護者に関しては、「②個に応じた指導の充実」についての肯定的評価が、80%を下回ったが、「分からない」と回答した保護者が多いことが影響していると考えられる。

③の「授業規律の徹底」に関しては、**否定**が三者とも0%で、当事者である教師、生徒が日々の授業を大切に、落ち着いて学習に取り組んでいる様子が、保護者にも伝わっていることがうかがわれる。

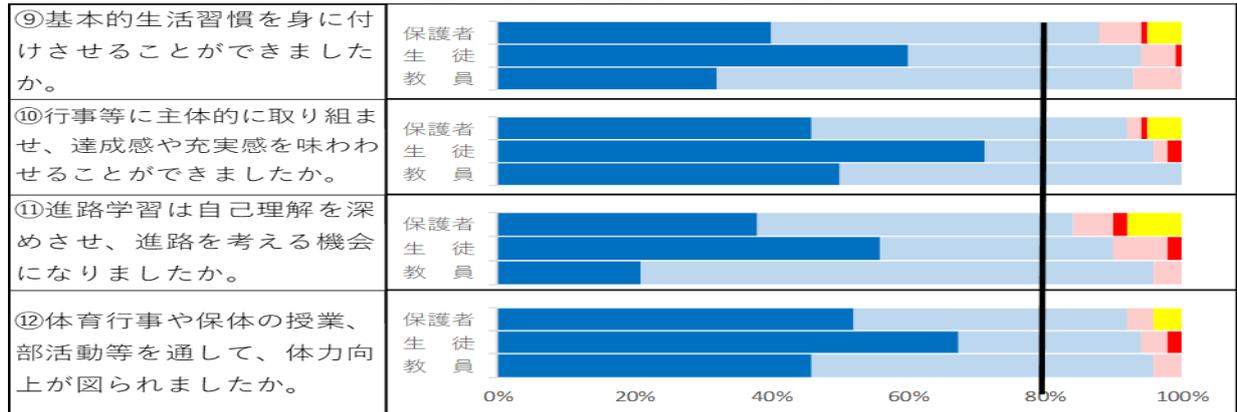
重点目標2 豊かな人間性、多様性を受容する共生の心をもつ



すべての項目で生徒・教員は、肯定的な回答が80%を超えている。保護者に関しては、「⑤いじめ等の問題行動の未然防止」についての肯定的評価が、80%を下回ったが、「分からない」と回答した保護者が多いことが影響していると考えられる。

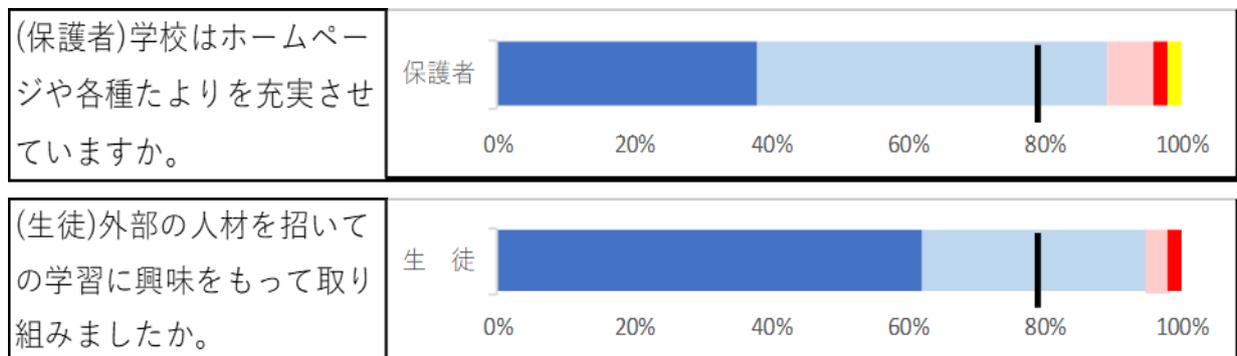
本校の特色である「⑥通常の学級と特別支援学級との交流学習」は、互いの良さを認め多様性を受け入れる共生の心を大きく育てたと三者が評価している。⑤に関しては、生徒には「困りごとの際に相談できる大人はいますか」と具体的に尋ねていて、相談相手を教員に絞らなかったことで肯定的な回答が格段に増えた。

重点目標3 強い意志と身体、基本的な生活習慣や社会性をもつ



すべての項目で三者とも肯定的な回答が80%を超えた。重点目標3は保護者が行事等で評価できるため、他の重点目標に比べ、保護者の「分からない」の回答が少ないのが特長である。すべての教育活動を支える「⑨基本的な生活習慣の定着」の肯定的評価も三者とも高い数値で、本校生徒が落ち着いて学習に取り組む様子が結果に表れた。また、「授業を大切にすることで学力が身に付き、その力を行事という実践の場で発揮し、生きた学力を身に付ける」という「銀座中学校の正のスパイラル」が、しっかり機能した様子が、「⑩行事の達成感や充実感」や「⑪進路学習の取組の満足度」の肯定的評価の数値の高さから読み取れる。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況



保護者アンケート「ホームページ、学校だより、Classroom、学年通信等の各種たよりの充実」については、肯定的な回答が80%を大きく超えた。「学校情報の発信」はtetoruやClassroomで配信を充実させ、来年度以降もタブレットを有効活用していきたい。

生徒アンケートの「外部人材を招いての学習活動への取組」について、95%と大変高い肯定的評価になった。特に3年生は卒業期に合わせ「銀座」を知る地域理解教室として、歌舞伎や浄瑠璃等の伝統芸能を卒業生や保護者から学んだ。

3 今後の改善方策

- ・生徒の自己有用感を高める銀座中学校「正のスパイラル」の推進
- ・生徒がタブレット端末を主体的に活用する学習環境の充実
- ・生徒の豊かな心と基礎学力を高める読書活動の充実